

次号予告

特集 人口減少時代の入口で

人口・世帯から見た日本の姿：これまでとこれから ……	小山泰代 (国立社会保障・人口問題研究所)
人口減少のメカニズム ……	稲葉 寿 (東京大学)
人口減少と世帯・家族 ……	鈴木 透 (国立社会保障・人口問題研究所)
人口減少と人口移動 ……	中川聡史 (神戸大学)
地域からみた人口減少のメカニズム ……	小池司朗 (国立社会保障・人口問題研究所)

編集後記

●今回の特集 MOT 教育の記事を読ませていただくと頭に浮かんだのは、いまだ広く使われている「文系と理系」という今となっては意味を成さなくなりつつある学問の区分である。大部分の日本人は高校生のころから専門を文系か理系のどちらにするか選択を迫られて、学問の世界の半分を無意味に遠ざけることを強要される。

●OR は理系か文系かどっち？ と選べということになれば大半の人は理系！ と答えるであろうが、OR を専門にする人は文系と呼ばれる学問や社会活動について情報収集しなくてもよい、という意味ではないだろう。学際的な活動が活発になり、様々な分野で産学官の連携も進行中である。既存の分野の垣根は揺らぎつつある。

●恐ろしいことに、文系と理系は人間を区分するためにも使われる。自分が文系か理系かを判断するのは簡単だ。どっちが人生得しているか考えればよい。得しているように見える方でない方が自分だ。隣の芝生は青い。

●MOT 教育発祥のアメリカでこのような区分があるのかどうか寡聞にして知らないが、さいわいなことに特集記事からはどこにも感じられない。制約条件が少ないほど最適解は良いものが得られることはORでは常識である。MOT 教育を日本に移植するにあたり、技術と経営の連携には理系と文系のせめぎあいがあったのではないかといらぬ心配をしてしまうが、今回の特集記事は、この区分がもはや無意味であることを示していると言えるだろう。(三浦英俊)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大村弘之(日本電信電話株)、岡田 勇(創価大学)、岡野裕之(日本アイ・ビー・エム株)、住田 潮(筑波大学)、高橋一喜(東京ガス株)、高橋彰子(株NTTデータ)、田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ株)、土屋利明(日本電信電話株)、所 健一(助電力中央研究所)、生田目崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、廣津信義(独日本スポーツ振興センター)、藤本 衡(東京電機大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、村井雅彦(株東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 17 年 12 月号 第 50 巻 第 12 号 通巻 540 号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森 真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ